

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 <http://www.higurashi.net/> 第0010号
護國青年會議 <http://www.gokoku.net/> 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成17年2月26日

小学校で教職員殺傷、17歳卒業生を逮捕・・・14日大阪 またしても少年による凶悪犯罪が起こった。今回の事件は、平成13年の「池田小児童殺傷事件」に酷似しているが、その時と違うのは狙われたのが教職員だったという点である。調べによるとこの少年は「小学校時代にいじめにあった時、担任の先生が助けてくれなかった」などと供述しているというが、そんな理由で命を奪われた先生は、到底浮かばれない。池田小事件の犯人・宅間守は死刑に処されたが、この少年にはどんな裁きが待っているのだろうか？確実に言えることは、自称人権派弁護士なる者がしゃしゃり出てくることだ。この種の犯罪が起こるたびに、未成年犯罪者に対する手厚い保護に釈然としない思いが生ずる。軽犯罪ならともかく、殺人などの凶悪犯罪に対しては実名を公表すべきだと思う。それによって加害者が世間から白い目で見られようが自業自得であり、ある日突然、魔の手にかかった被害者の家族の心痛を思えば当然のことである。
編集人

南方領土は日本固有の領土である

日本固有の領土でありながら、中国が領有権を主張している東シナ海の尖閣諸島魚釣島に設置された灯台の保守・管理権が10日、政府に移管されることになりました。灯台は中国の反発を恐れた政府が、正式に航路標識として許可していないため、海図には記載されていませんが、政府に保守・管理権が移管されることにより同諸島における日本の実効支配が強化されるのは大変喜ばしい限りです。南沙諸島などにおける中国の拡大政策を見ても、春暁での盗掘行為を見ても、この問題を放置しておいたら取り返しのつかないこととなってしまいます。魚釣島が日本の領土であるということを明確にするため、遅まきながらも正しい修正の一步を踏み出したと評価できます。



尖閣諸島・魚釣島

ご注進報道の朝日や毎日は大袈裟に「中国の反発が予想される」と「中国様、日本を叩いて下さい」と言わんばかりの報道姿勢をとり、毎度のこととは言え呆れるばかりです。「南方領土」は中国がどんな能書きを言おうが、端から我が国の領土であることは、疑いようもない事実です。国民に事の重大さと「南方領土」の大切さを克明に説明し、サッカーの試合以上に関心を向けさせなければならないと思います。その割にはマスコミの扱いが小さすぎるのは納得がいきません。
編集部 / 吉田源太

もっと光を・・・天に届けこの思い・・・復興願い5000個の灯



新潟県中越地震の被災地、小千谷・坪野両地区の雪原で12日夜「ほんやら洞まつり」が開かれ、住民らが高さ約50cmのかまくら「ほんやら洞」にろうそくを灯し、復興への願いを込めた。これは豪雪に埋もれる畑地を利用したイベントで、会場入口の雪の壁には「10・23 支援ありがとう」と大きく描かれてあった。降りしきる雪の中、ろうそくの温かな灯火が暗闇を照らし、訪れた人々は口々に「もう地震がおこらないように」「今年は良い年になって欲しい」と祈りを捧げた。テレビのニュースでこの画像を見た人は、幻想的な美しさに心を惹かれたと思う。真っ白な雪原の中にひとつ

ひとつ並ぶ5000個もの小さなかまくら「ほんやら洞」。その中には、ろうそくが灯され白銀の世界を暖かく照らす。その先には住民の人たちの復興への祈りと「支援ありがとう」という感謝の気持が映し出されているようだ。大地震により愛する家族を失い、家を破壊され、さらに追い討ちをかけるような豪雪に見舞われても被災者たちは、誰を恨むでもなく、復興にあたる自衛隊員やボランティアの人々への感謝の心を忘れない。昨年4月、制止を無視してイラクに入り、人質になった今井、高遠、郡山の3氏の家族がデモや署名集めをして「早く救出しろ。そのためには、犯人の要求を聞け。」と政府に迫ったのは霄壤の差がある。他人を疑ったり、恨んだりすることの多い私などは、被災地の人々を大いに見習わなければならない。やがて桜が咲き、花火が夜空を飾り、紅葉と収穫の秋が来て、そしてまた雪が降る・・・被災者にとって四季の移ろいは、時には優しく、時には残酷にもなる。一日も早い復興を心から祈るばかりである。
編集人 / 戸出蒼流